

令和4(2022)年度及び第3期中期目標期間に見込まれる業務の実績に対する 評価結果の反映状況について

【価値目標】：県が法人に期待する目標（＝中期目標）
【実現目標】：価値目標を達成するために法人が目指すべき目標・評価指標

令和4(2022)年度及び中期目標期間に見込まれる業務の実績に対する評価結果の反映状況は以下のとおりです。

分野	中期計画／ 令和4(2022)年度計画	実現目標 (令和4年度／ 令和6年度)	評価結果（課題）		評価結果の反映状況
			令和4(2022)年度	中期計画期間見込	
地域貢献（教育）	【価値目標】 3 看護師の質の向上				
	<p><令和4年度計画> 特定行為研修や専門看護師の資格取得者を増加させるため、意向調査や情報提供を行う。</p>	<p>専門看護師数の増加（第3期期間累計）</p> <p>【令和4年度】 2人</p>	<p>大学院修士課程における専門看護師課程を2人が修了したものの、専門看護師数は第3期期間累計1人とどまり、目標（第3期期間累計2人）に達していない。</p>	-	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門看護師の資格取得者を増加させるために、意向調査や師長による目標面接により人材発掘を行った。 ・大学院修士課程の修了生2名のうち1名が専門看護師認定試験に合格し、専門看護師となった。 ・専門看護師資格取得のため大学院を1名が受験し合格となった。 ・専門看護師課程修了者を1名採用した。 <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門看護師の資格取得者を増加させるために、意向調査や師長による目標面接により人材発掘を継続して実施する。 ・専門看護師認定試験に2名が受験予定であり、合格すれば2名が専門看護師となり、有資格者の採用1名と合わせて3名となり目標は達成される。

分野	中期計画／ 令和4(2022)年度計画	実現目標 (令和4年度／ 令和6年度)	評価結果(課題)		評価結果の反映状況
			令和4(2022)年度	中期計画期間見込	
地域貢献 (診療)	【価値目標】 5 県民を守る「最終ディフェンスライン」の実践				
	<p><令和4年度計画> e-MATCHを活用した救急コーディネーター事業の確立のため県と協議し、救急隊からの受入照会に対する受入率の向上を図る。</p>	<p>中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合の低下(1月～12月) 【令和4年度】 4.2%</p> <p>救急隊からの受入照会に対する受入率の向上 【令和4年度】 100%</p>	<p>新型コロナウイルス感染症第7波及び第8波の感染者数急増に伴い、高度救命救急センターを常に満床に近い状態で運用せざるを得なかったこと、クラスター発生等により周辺医療機関の病棟が閉鎖され、他院の救急受け入れ及び他院への転院が不可となる事例が多々発生したことにより、救急患者の受入が困難な状況に陥ったことがあった。このため、「中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合」及び「救急隊からの受入照会に対する受入率」の指標が低下した。</p>	-	<p>【令和5年度】 令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類相当となり、コロナとの共生がさらに進むことを踏まえ、院内の救急医療・災害対策プロジェクト会議等において、コロナ以前の救急医療体制を再度整えることを確認した。これにより、高度救命救急センターの「救急隊からの受入照会に対する受入率」は1～12月で90.3%(R4年85.1%)、「中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合」は1～12月で5%(R4年7.36%)と、堅調に回復している。</p> <p>【令和6年度】 新型コロナウイルス感染症と社会全体の共生が今後さらに進むことが予想され、コロナ以前の救急医療体制の提供により、「中南和地域における重症以上の傷病者搬送事案において医療機関に受入の照会を行った回数4回以上の割合」及び「救急隊からの受入照会に対する受入率」の、いっそうの改善が見込まれる。</p>

分野	中期計画／ 令和4(2022)年度計画	実現目標 (令和4年度／ 令和6年度)	評価結果(課題)		評価結果の反映状況
			令和4(2022)年度	中期計画期間見込	
【価値目標】 7 各領域の担い手となる医療人の育成					
地域貢献 (診療)	<p><中期計画> 県内及び全国の医療機関等との連携を進めるとともに質の高い国際水準の臨床研究を実施する体制を整え、臨床研究への支援を進め臨床研究中核病院の承認要件充足に向けた取り組みを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床研究中核病院に求められる特定臨床研究の新規実施件数等の要件を満たすため、臨床研究の支援体制を強化し、研究計画書作成やデータマネジメント業務等への支援の充実を図る。 手順書を整備する等臨床研究中核病院に求められる各部門の体制整備を進める。 	臨床研究中核病院の承認を得る 【令和6年度】	—	<p>地域医療が充実する臨床研究支援体制を確立するため、実現目標である臨床研究中核病院の承認取得に向け、年度計画を着実に実施し、臨床研究体制の充実を図ってきた。しかし、研究・安全管理体制や実施体制等の要件は充足したものの、研究成果をあげるためには時間を要することから、研究実績要件等の一部要件充足が困難と見込まれる。整備した研究体制を活かし、今後一層の取組が期待される。</p>	<p>【令和5年度】 臨床研究中核病院への承認要件の一つとして、3年間で医師主導治験4件、特定臨床研究40件の実施という現在未充足の課題がある。これに対し、今年度の目標として特定臨床研究10件をかかげ、目標どおり10件の開始の目途が立った。医師主導治験の開始・実施に向けても、外部研究資金の獲得支援や独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)への相談支援などを実施したところ、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の助成事業に採択され、令和6年度から開始できる見込みとなった。</p> <p>【令和6年度】 一部要件充足が困難な状況は変わらないが、医師主導治験については令和6年度に2件を開始させる見込みが立ち、特定臨床研究についてもさらなる上積みを目指し、様々な面からの研究支援をはじめとした研究成果をあげる取組を継続していく予定である。</p>

分野	中期計画／ 令和4(2022)年度計画	実現目標 (令和4年度／ 令和6年度)	評価結果(課題)		評価結果の反映状況
			令和4(2022)年度	中期計画期間見込	
診療	【価値目標】15 県内基幹病院としての機能の充実				
	<p><中期計画> 県内基幹病院として求められる機能を発揮するため、臨床指標を通じた医療の質の向上、熟練した技術と知識を有する人材の養成及び将来の医療ニーズを踏まえた病院施設整備の取り組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の資格取得者を増加させるため、意向調査や情報提供を行う。 <p><令和4年度計画> 認定看護師の資格取得者を増加させるため、意向調査や情報提供、体験型研修を行うとともに、育成支援のあり方を検討する。</p>	<p>認定看護師等の増加</p> <p>【令和4年度】 11人</p> <p>【令和6年度】 15人</p>	<p>認定看護師の資格取得者は、第3期期間累計7人となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により受講可能な教育機関が減少したため、目標(第3期期間累計11人)に達していない。</p>	<p>認定看護師数は、最終目標値に達しない見込みであるが、令和5年度に手術看護分野で1人、皮膚・排泄ケア分野で2人が受講し、令和6年度認定審査に合格すれば、第3期中期目標期間中に10人の増加が見込まれる。県内基幹病院として専門性の高いスキルや知識を有する看護師(特定行為研修修了者、認定看護管理者を含めた人数)は着実に増加している。</p>	<p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の資格取得者を増加させるために、意向調査や師長による目標面接により人材発掘を行った。 認定看護師教育課程に3名が受験し、2名が合格となり令和6年度より受講予定である。 令和5年度に3名が認定看護師教育課程を修了し、令和6年度に認定審査を受審予定である。 <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定看護師の資格取得者を増加させるために、意向調査や師長による目標面接により人材発掘を継続する。 3名が認定看護師審査に合格すれば、合計10名の認定看護師の増加となる。